

R5年度 学校評価のアンケート結果について

各務原市立蘇原第二小学校

今年度も「よりよい学校をつくっていくためのアンケート」を実施しましたので、その結果をお知らせします。

R5年度 学校評価のアンケート結果(「あてはまる」「概ねあてはまる」の割合) 実施日R6年2月

項目	児童のアンケート	R4結果 (%)	R5結果 (%)	保護者のアンケート	R5結果 (%)	R5結果 (%)	
実感できる学び	授業(分かる)	わたしにとって、授業は分かりやすいです。	91	94	学校はどの子にも確かな力が身につくような授業をしている。	92	89
	授業集中 挙手発言	わたしは、授業に集中して、進んで発表したり、活動したりしています。	83	80			
	授業(課題解決)	わたしは、授業でわからないことを、学校で先生やともだちに聞いて解決しています。	83	85			
	家庭学習	わたしは、学校の学習とつなげて、家でも進んで学習に取り組んでいます。	77	73	学校は、「蘇ニッ子学習ノート」等を活用し、家庭学習が充実するように、はたらきかけている。	81	82
	ICT活用	わたしは、自分の学習のために、タブレットなどを使って学習に取り組んでいます。	84	82	学校はICT機器の効果的な活用に向けて指導している。	91	90
一人一人のよさを生かし、互いに認め合える学校学級づくり	規範意識	わたしは、学校や社会の決まりを守っています。	94	95	学校は規律ある学校づくりに努めている。	96	97
	教師からの声かけ	わたしは、先生から、自信がもてるような言葉かけをもらっています。	85	88	学校は児童に自信がもてるような言葉かけをしている。	92	95
	自己肯定感	わたしは、自分にはよいところがあると思っています。	76	80	(新規)学校は児童のよいところを認めている。	96	96
	自己有用感	わたしは、学校や学級、仲間のために進んで考えたり働いたり役に立っています。	78	80	学校は一人一人を大切にした指導に努めている。	90	93
	創造的な活動	わたしは、学校や学級、仲間のためにアイデアを出したり、取り組み方を工夫したりしています。	76	73	学校は、係活動や委員会活動など創造的な活動の推進に努めている。	99	95
	ボランティア	わたしは、ボランティアに進んで取り組んでいます。	76	81	学校はボランティア活動の推進を行うなど、地域や社会を大切に指導に努めている。	92	94
逞しい心と体	いじめ根絶	わたしは、いじめをしていないし、いじめのない学校になるようにしています。	91	94	学校はいじめのない学校づくりに努めている。	94	93
	遊び・体力づくり	わたしは、進んで遊んだり体を動かしたりしています。	88	87	学校は児童の健康な体づくりに努めている。	95	94
	命を守る	わたしは、自分の命を自分で守るように意識しています。	94	98	学校は児童が自分の命を守ることを意識できるように努めている。	95	95
	夢や目標を	わたしは、夢や目標に向かってがんばっています。	89	91	学校は夢や目標をもって生きる児童の育成に努めている。	92	91
3つの宝物「あいさつ」	わたしは、3つの宝物のひとつの「あいさつ」を学校や地域で進んで行っています。	87	90	学校は進んであいさつする児童の育成に努めている。	92	91	
3つの宝物「まごころ掃除」	わたしは、3つの宝物のひとつの「まごころそうじ」をがんばっています。	90	90	学校は心を込めて掃除をする児童の育成に努めている。	98	97	
3つの宝物「合唱」							
ふるさと教育	わたしは、ふるさと(蘇二小校区・各務原市・岐阜県)について調べたり学んだりしています。	78	78	学校はふるさとに誇りと愛着をもつことができるような活動の充実を図っている。	94	94	
相談できる先生	困ったことや悩みがあったら、相談のしてくれる先生がいます。	88	88	学校は悩みをもった児童に対応できるよう教育相談体制を充実させている。	89	92	
(いじめ対応)危機管理	学校は、いじめのない学校になるよう、素早く対応しています。	90	91	学校は、児童の安心・安全のため危機管理に努めている。	96	92	
家庭との連携				学校は家庭と相談・連携しながら児童の指導を行っている。	95	92	
情報公開				学校は、児童の様子や学校の取組等、わかりやすく伝えている。	88	86	
主体性・自主性	わたしは、チャレンジウェンズデイの日は、何をするか考えて、充実した日になるように過ごしています。		89	学校は、「チャレンジウェンズデイ」の取組を通して、児童の主体性や個性を育てている。		80	

アンケートの結果より

児童のアンケートは全部で21項目ありましたが、児童では18項目、保護者では全ての項目について、8割以上の方から「概ね当てはまる」「当てはまる」という回答をいただきました。今年度は、児童や保護者、地域と「つながる」を合言葉に教育活動を行ってきました。昨年度までは、コロナ禍で感染予防対策を講じた教育活動を余儀なくされ、子どもたちにとっても不自由な生活が続きました。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類となったことを踏まえ、コロナ禍前の活動に戻したり、これまでの活動を工夫して、新しい活動に変更したりしながら、教育活動を進めてきました。様々な教育活動の中で「つながる」を合言葉に、コロナ禍で減少した人と人とのつながりを大切にしながら児童の指導に当たってきましたが、今回のアンケートの結果から、喜んで登校してくれている子が増えていることに、少し安心をしました。

一方で、児童のアンケート結果から「概ね当てはまる」又は「当てはまる」という回答が8割以下になっている項目があります。8割以上の方から「概ね当てはまる」「当てはまる」という回答をいただいた項目の中でも、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」という回答もあります。今後も、地域や保護者の皆様と連携し、全ての児童に未来を生き抜く力を育てていくことができるよう、取り組んでいきたいと思えます。

「実感できる喜び」については、ひとりひとりが「分かった喜び」や「できた喜び」を実感しながら学習を進めることができるよう、児童の躰きを把握して、個に応じた指導の充実を図っていきます。「ひとりひとりのよさを生かし、互いに認め合える学校学級づくり」では、児童の豊かな発想や創造力を十分に発揮する機会がコロナ禍により減少したことが要因のひとつにあげられるのではないかと考えています。今後も、児童の思いや願いを引き出して認めたり価値づけたりし、願いの実現に向かって、丁寧に指導、支援をしていきます。

「逞しい心と体」では、児童が自分自身やまわりの人を大切にしながら生活を送ることができるよう、継続して指導をしていきます。中でも、「いじめは絶対に許されない」ことについて、今後も力を入れて指導をしていきます。近年、児童の体力低下も課題のひとつにあげられます。体を動かすことが習慣化できるように外遊びを推奨していきます。

その他の項目では、「警報発令時の対応」について、保護者の皆様と連携を図りながら迅速に対応していきます。また、「情報公開」については、肖像権に係る課題等もございますが、児童の様子が少しでも多くの保護者の皆様に伝わるよう、教育活動を様々な形で公開していきたいと考えています。今年度から「チャレンジウェンズデイ」の取組を始めさせていただきました。「チャレンジウェンズデイ」の取組を保護者の皆様にご理解いただきながら、ご家庭と一緒に児童の自主性や主体性を育み、個性の伸長が図れるよう、取組の意図や願いについてしっかりとお伝えできるようにしていきます。そして、家庭学習については、児童が家庭で進んで学習に取り組むことができるよう、家庭学習の在り方を保護者の皆様と一緒に考えていきたいと考えています。

アンケートの記述による回答については、安全面（防災や防犯等）、タブレットの使用法、子どもたちの体力や衛生面について、ボランティア手帳の使い方、授業参観日について、キャリア教育について、自宅学習の行い方、児童の地域での挨拶等の貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。ご意見を参考に、今後の教育活動の充実につなげていきたいと思えます。また、「子どもたちが毎日楽しく学校に通っています。ありがとうございます。」と温かいお言葉も多くの保護者の方からいただきました。ありがとうございました。

大変お忙しい中、多数の保護者の皆様からご回答をいただき、誠にありがとうございました。アンケートの表記が分かりづらく申し訳ございません。今回の結果については、蘇原第二小学校ホームページからもご確認いただくことができます。